

vol.51-09 (通算 582号)

2021年12月号

やどかり

2021年12月15日発行
(毎月1回15日発行)1987年12月19日第三種郵便物認可
発行人 公益社団法人やどかりの里
代表者 増田 一世

〒337-0043 さいたま市見沼区中川562

TEL 048-686-0494

FAX 048-747-7030

URL <https://www.yadokarinosato.org/>

定価 50円(含会費)

多くの人たちと祝い、未来への期待をこめて 50周年記念事業「感謝の集い」を開催して

11月13日(土)13:30より、やどかりの里50周年記念事業(以下記念事業)、「感謝の集い」を開催した。

2020年が設立50周年にあたり、昨年開催される予定であったが、COVID-19感染拡大防止のため、今年度の開催とした。

全国から160人以上のオンライン参加があり、参加できなかった人たちからも多くのメッセージをいただいた。来賓として大野埼玉県知事、清水さいたま市長からビデオで今後の活動に対する期待と激励のメッセージをいただいた。岡田久実子さん(公益社団法人全国精神保健福祉会・みんなネット)からは、やどかりの里との出会いを振り返りつつ、「障害や病気があっても尊厳が大切にされる社会の構築に向けて、これからも努力していきましょう」とメッセージをいただいた。

ご来賓からのご挨拶に続き、やどかりの里からのメッセージとして、この50年の活動のエッセンスが凝縮された記念映像「1人1人が主人公 今そして未来へ」を初公開した。

50周年記念出版『もう1つの価値に出会う 50のエピソードで綴る50のヒント』として出版予定で、50編の原稿の中から4編を朗読し、障害のある人や家族、職員の経験と経験から見出されたことを共有した。朗読にはフリーアナウンサーの高山久美子さんのお力をお借りした(詳細は本誌2面参照)。映像、書籍はいずれもこの50年の活動の蓄積の中から見出してきた価値を広く社会に知らせたいとの思いから制作された。書籍『もう1つの価値に出会う』では、

やどかりの里が大切にしてきた4つの要素「生きる・つながる・変える・つくる」とそれらを支える「理念と哲学」の5部構成になっている。朗読されなかった46編も含め、改めて本書を手にとっていただきたい。

これまでの地域活動に多大なご協力をいただいた13人の方々に感謝状と記念品の贈呈も行った。代表として、やどかりの里職員第一号の荒田稔さんよりご挨拶をいただいた。50年前のメンバーと寝食をともにした当時のエピソード、活動の存続の危機、法人化に向けての苦労、これからも地域で生きる今後の活動の広がりについて、熱いエールが送られた。

続いて、きょうされん理事長斎藤なを子さん、(株)ベストワーク代表取締役丸志伸さん、やどかりの里理事柳義子さんからご挨拶いただき、50年にわたるこれまでの取り組みと現在の活動の広がりに対する成果を祝い、また未来に向けての発展への期待を込めたメッセージが述べられた。

終わりに代表理事の増田一世より、「精神病院は暮らしの場ではなく、生活は地域の中にある、との思いで設立されたやどかりの里は、メンバーや家族の願いがそのエネルギーとなってきた。地域の中に事業所を点在させ、障害や病気を克服するのではなく、生きやすい、暮らしやすい環境を整え、仲間に出会える場、ここにいていいんだという安心感を持てる場を大切にしてきた。この50年を通過点としながら、これからも未来を切り開いていきたい」と会を締めくくった。